

上 建 第 238 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

上峰町長 大 川 紀



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のあった標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

佐賀 県 上峰 町

1 国・県道などへの町道取り付けに係る原因者負担による国・県道改良工事について

現在、町道の新設・拡幅など国・県道へ接道を行う場合に取付協議を行っているが、その中で国・県道の拡幅（右折斜線など）の指示について、原因者負担により国・県道の施工を行っているところである。しかし、今日の厳しい財政事情の折、取付けに係る改良工事については、管理者による施工もしくは費用負担制度などの検討をお願いしたい。

②－１ 地域の現状と抱える課題

佐賀 県 上峰 町

○現状

- 1 国道３４号線を軸とした流通経路を基に、本町北部地を商工業地域の拠点とすべく過年度に船石工場団地、佐賀東部中核工場団地などを整備してきたものの、一般車両の増加により国道の慢性的な渋滞がつづき、朝夕の混雑時には町道などを迂回する車両の増加に国道沿い以外の地元住民が悩まされているのが実情である。

○課題

- 1 渋滞緩和の措置として、暫定的な交差点改良を施して頂いたものの、通行車両は増加する一方で、慢性的な渋滞が現在も続いている状況である。
現道拡幅を行うには、用地の確保及び沿道にある民家の補償など多大な経費が必要となるうえに、現在の幅員になるまでに何回ともなく用地を提供された方が多く、心情的に買収は難しいのではないかとと思われる。
また、バイパス路線を検討するには隣接町村との調整みならず、相当な期間を要すると判断される。

②－２ 地域の目指すべき将来像

佐賀 県 上峰 町

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

佐賀 県 上峰 町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	・ 大店舗進出に伴う、国・県道を連絡する道路の整備	・ 地元住民のみならず、一般通行車両も進入しやすくなることにより、地域経済の発展につながっている。 ・ 国道との連絡部（交差点）に信号機を設置したことにより、車両の円滑な進入に寄与。	